

---

# 交差点

冬桜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

交差点

### 【Nコード】

N4206L

### 【作者名】

冬桜

### 【あらすじ】

夕暮どきの交差点にて。

昼と夜の境目。現実的には明確な区切りはないだろう。誰かが夕暮れと言ったから夕暮れとなった。落ちていく太陽は次第に赤みを帯びながら、影を引き伸ばしていく。

別に目的があつたわけではない。ふらりと歩く。理由なんていくらでもつけられるけど、あえて言うなら気分なのかもしれない。自分是一体どういふ顔をしているだろうか。他人から見れば、今の自分はどう映っているのだろうか。そんなことを考えるほど、今の自分は無意味に歩き続けている。自覚はあれども気力はもたず。

夕暮れどきの街中は、全てのものが赤一色で統一されている。ここはまるで別世界だといわんばかりだ。見渡す限り、人も建物も赤くなっている。

近くにきてようやく気付いた。救急車のサイレンの音だ。緊急を要する音が夕暮れの世界に響いている。事故現場は近くの交差点らしい。慌しく動く人影。泣いている人がいれば、呆然と立ち尽くす人もいる。既に野次馬もいるらしい。遠くから見る人たちがいる。

自分はその交差点を通り過ぎた。足も止めずに。ただ、眺めるだけで。

(後書き)

いつから傍観者になったのか。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4206/>

---

交差点

2010年11月23日04時57分発行